

令和5年度児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価			チェック項目	利用者評価	
環境面	はい (40%)	20%	いいえ(40%)	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい (75%)	25%
	はい (20%)	どちらとも (20%)	20%	②職員の配置数や専門性は適切か	はい (75%)	25%
	はい (60%)		いいえ(40%)	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい (100%)	
適切な支援の提供	はい (100%)			④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑤活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい (100%)	
連携	はい (100%)			⑥保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい (75%)	25%
説明責任	はい (100%)			⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい (100%)	
	はい (80%)		20%	⑫子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい (100%)	
	はい (80%)		20%	⑬定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑭個人情報に十分注意しているか	はい (100%)	
非常時の対応	はい (80%)		20%	⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい (100%)	
	はい (100%)			⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい (75%)	25%
その他				⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい (100%)	
				⑱事業所の支援に満足しているか	はい (100%)	

※無回答はどちらともいえないで集計

ご意見

・親子共々たくさん助けて頂いて職員の皆様には感謝しております。これからもよろしくお願いします。

・いつもありがとうございます。活動内容がとっても豊かで感動しています。本人も大満足な様子で帰ってくるので楽しめてるなんだなと、嬉しく思います。何かとケアが多い我が子ですが、丁寧かつ柔軟に対応して下さり心から感謝です。スタッフの方々が温かく関わって下さりこちらも温かい気持ちになります。私自身、ぶらすとの交流にいつも元気をもらっています。今後も元気に通えるように親子共々ががんばります。

▶上記アンケートに対しての意見（保護者）

・特になし

▶上記アンケートに対しての意見（スタッフ）

①③に対しての意見…スペース的に、狭いと感じます。また、バリアフリーはされていないので、早めにバリアフリーになる事を望みます。

自己評価とアンケートについて

共通点

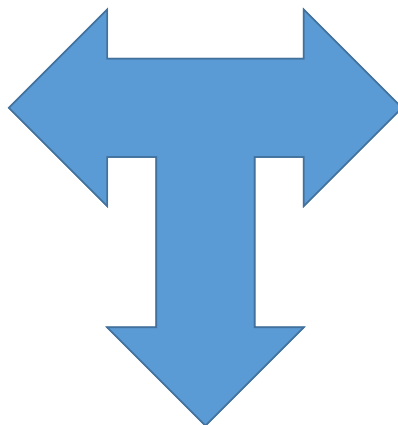
支援の提供、連携、説明責任、非常時の対応については概ねポジティブな意見で一致していた。

相違点

環境面については相違が大きかった。

事業所の強みと改善点

利用者に対する個別の支援の提供や、保護者間、スタッフ間の共通理解はおおむね個人に合わせた支援が出来ていると思われます。今年度は他事業所との交流や保育交流を実施出来たことが、前年度の改善に繋がったと思われれます。



・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練については年2回以上と実施しているが、実施頻度や訓練内容については今後も検討していきたいと思っています。
・子どもの活動等のスペースについては、お子さんの利用数が増え室内活動にも制限があるため、その環境でできる活動や支援ができるよう検討していきます。
・職員の配置については、利用数も増えた影響もありますが来年度は増員の予定もあります。

改善に向けた取り組み

今年度は他事業所や保育所との交流を実施出来たことがアンケートの結果にも繋がったと考えられます。しかしコロナなど感染症の流行にて中々交流の頻度を増やすことができず、来年度はより多くの交流の機会を作りたいと思います。非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練については年2回以上と実施していますが、市のハザードマップに対応した災害を想定した訓練、避難経路・手段の確認、児童に合わせた避難方法を検討していきます。活動スペースを拡大することは難しいですが、その中で過ごしやすい環境づくりや楽しめる支援を考えていきたいと思っています。支援については、引き続き子供たちの経験の幅の広がりに繋がるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていきます。